

# 保護司会連絡協議会会長賞

堺市立 大仙小学校 六年

岩田 ひなた

## 心の乱れが非行につながる

この世界には非行や犯罪があります。私は「どうしてこのようなことをしてしまうのだろう」と考えたところ「心の乱れ」が大きく関わっているように感じました。心の乱れがなくなれば、非行や犯罪を防ぐことができるかもしれません。心が乱れる理由は大きく三つあると考えました。

一つ目は、親に怒られた時や、ケンカをした時など、イライラした時に非行が起こりやすいと考えました。イライラした時は、やつあたりなどをしやすくなってしまいます。物事が思い通りに進まない、もっとイライラして、自分でも分からない行動をとってしまいます。そして、他の人まで巻き込んでしまうと考えるました。イライラした人は少しでも心を落ち着けるようにすることが大切です。その場から離れたら、ゆっくりすることで気持ちが静まってから行動すると、このような行動は少なくなるのではないかと考えられます。

二つ目は、心の容器に穴が開いてしまっているからです。心の容器に穴が開いていると、どれだけ友達と遊んでいても、家族と

笑い合って楽しく過ごしていても、幸せがどんどんその穴からぬけていってしまいます。すると心が乱れ、周りの人に対して無関心になります。そして周りの人がどんなことを思っているのかも分からなくなり、苦しく、やめてほしいことも、やめられなくなってしまう。それがいじめにつながるのではないかと思いました。

三つ目の理由は、自分を認めてもらえず、居場所が無いということ。自分が認められていなかったら、自信を持って意見を発言することが出来なくなります。すると、その人は自分を出せなくなり、さらに自信をなくしてしまいます。なので相手の良い所も悪い所も認めることでみんなが平等になるのではないかと思いました。居場所が無かったら、学校にも行けなくなってしまいます。逆に自分の居場所があると、仲間と一緒に話したり、学習したり出来ます。班の中に一人でも居場所が無い子があると班がなり立たなくなります。居場所が無くなるには理由があります。その中でも「いじめ」が大きいのではないかと考えました。複数

が意識すればこの社会はどんどん明るくなっていくのではないかと考えます。

の人からいじめを受けてしまうと、さけられたりするので居場所が無くなってしまいます。いじめは暴力や暴言などさまざまな種類があります。私も一人の女の子から一度されたことがあります。その時は、ものすごく辛くてしんどくて、学校に通うのがしんどいとはこういうことなんだと初めて実感しました。いじめを受けるとまず顔が変わります。目が「何も楽しくない」と言っているようになり、だるそうな体になります。私もそうでした。なので大人に相談して助けてもらおうことが大切だと思います。先生に相談し、久しぶりに話し合ってみると、相手の意見が知れて、自分にはこういう短所があるんだと改めて知れました。今はすごく仲良しなので、どちらも心を入れ替えて良い方向に行っているのだろうと感じます。私たちの心の容器の穴はふさがったのだろうと思います。クラスや学年の中にいじめを受けている人がいると雰囲気重くなります。すると、みんなが楽しくない学校になってしまいます。そして少しずつ良くない方向に進んでいくのではないのでしょうか。そしてそれが非行や犯罪へ発展していくのだと思います。

なので非行をしてしまうには心の乱れが関係していると考えました。いじめが無い世界が目標ですが、いじめが全く無い世界をつくることは難しいです。しかし少なくすることなら出来ると思います。周りにいる人々のことを他人事だと思わずに、一人一人

